

企画展

歴史に見る リサイクル



宮代町郷土資料館

☎0480-34-8882

期間 平成7年9月13日(火)～10月22日(日)

(月曜日、第2・第4火曜日、祝祭日は休館)

はじめに

経済の急激な発展とともに、人々の生活が大変豊かになった反面、物があふれ、たくさんの物がごみとして捨てられています。この結果ごみを埋めるところ（最終処分場）さえなくなりつつあります。また、これらが環境に及ぼす影響はきわめて大きく、深刻な社会問題となっています。このため、わたしたちのライフスタイルの見直しと、資源の有効利用の必要性が指摘されています。こうしたなか、資源の再利用や省資源のための試みとして、わたしたちの身近な生活の中で「リサイクル」が行われています。

一方、過去の人々の生活を顧みますと、今日の意識的に行われている「リサイクル」とは違い、“生活に密着した”というよりふだんの生活そのものに「リサイクル」の姿がありました。それは、人類が道具を手にした時から始まったといっても過言ではないでしょう。また、けっして遠い時代のことばかりではなく、昭和30年代頃に始まった高度経済成長以前のあたりまえの姿でもありました。

今回、そうした過去の人々の「リサイクル」から、現在の「リサイクル」まで約1万年間のほんのわずかな部分について展示しました。ぜひ、先人の「リサイクル」と現代の「リサイクル」の一端をご覧頂き、「リサイクル」を考える一助となれば幸いです。

平成7年9月13日

宮代町郷土資料館

大昔のリサイクル

(縄文時代～戦国時代)

人類が誕生するひとつの要素が「もの」を作り、使用したことです。それと同じ時期にリサイクルも始まりました。リサイクルは人類のもつ知恵の結晶とも言えましょう。昔の人々は、現在あるものを利用して新たなものを作り出すことは、得意分野であったのです。

縄文時代、土器が壊れると建物内の炉（いろり）や土錘（投網用のおもり）として転用したり、使いふるした土器を竪穴住居の入り口に埋めた埋甕（うめがめ）として再利用しました。また、戦国時代になりますと供養塔として建てられた板碑を溝のふたなどにも利用したようです。

No.1 埋甕（うめがめ）

縄文時代後期 地蔵院遺跡（ふれ愛センター）出土

埋甕とは、縄文時代中期から後期にかけて盛んにつくられたもので、竪穴住居の入口部などに埋められました。近年まで、産後の胎盤を家の出入り口付近に埋める習慣があったようですがこの埋甕もそうした風習として埋められたものでしょう。

No.2 炉体土器（いろりに転用された土器）

縄文時代後期 地蔵院遺跡（ふれ愛センター）出土

物を蓄えたり煮炊きをする甕（カメ）として作られたものですが、割れてしまったため、土器の口の部分をいろりの囲いとして利用しました。

No.3 土錘（投網用のおもり）

前原遺跡・中遺跡（前原中学校付近）出土

土錘（どすい）とは、魚を捕るための投網用のおもりです。この土錘は、壊れた土器の破片に刻みを入れひもを巻きやすくして使いました。

No.4 かわらけ

岩槻城跡出土

かわらけは、灯明皿として使われたほか、祭りや宴会の時、お酒を飲むために1度だけ使用し、すぐに捨てられた食器です。非常に政治的意味合いが強く、城跡などで多量に出土します。

リサイクルとは無縁の食器です。

No.5 板碑

宮代町内及び岩槻城跡出土

板碑とは、鎌倉時代から室町時代にかけてつくられた供養塔の一種で、追善供養・生前供養（逆修）などとして建てられたものです。

埼玉県内で見られる板碑は、秩父地方で産出される緑泥片岩でつくられています。

今回の企画展では、斧に再利用された板碑や砥石に再利用された板碑、木の実を割った道具に利用された板碑を展示しました。

むかしのリサイクル

(江戸時代～昭和30年代頃)

かつて、農村、都市にとらわれず物は様々なかたちでリサイクルされていました。リサイクルというよりそれ自体がひとつのサイクルとして機能していたといえるでしょう。

紙（和紙）は、襖の下貼りや、茶がめの蓋を包むために用いられました。また、お茶ごしらえのときはホイロにはりました。子供の手習は、紙が真っ黒になるまで使われました。

竈の灰や糞尿は、肥料として取り引きされました。竈の消し灰も再利用されました。

着物も、襦袢等のえりに再利用されたり、洗いはりし仕立て直しされ着られました。その原料は蚕から取った絹や植物の木綿です。

こうしてみると、自然の恵みをいっぱいを受け、それを余すことなく利用し生活していたことが伺えます。

No.6 封筒

郵便物をおくる封筒も、裏紙を利用して作る人もいました。このほかに、大切な書類をしまっておくための書類袋を手作りしてあったり、砂糖やお菓子がはいていた袋を領収書などの保管袋にしている例もあります。これは今でも実行している人はいますよね。

No.7 手習い帳

江戸時代の人々の筆記用具は、ほとんどが筆でした。子供達は寺子屋などで文字をはじめとした勉強を教わっていましたが、なかでも文字は熱心に練習をしました。当時、紙自体が貴重なものだったので、練習のときも一回だけで処分することはなく、大事に使うため紙の表面が真っ黒になるまで何回も練習しました。

No 8 襦袢

襦袢(じゅばん)は、着物の下に着る下着です。襟元と袖の部分や裾などは着物を着たときに見えるところですが、こういった部分に、古くなった着物のまだ使える部分を用いて、襦袢が作られています。

No 9・10 灰と炭

糞肥(ふんび)と共に重要な肥料だったものに、灰と炭がありました。灰や炭は日常生活においてカマドなどで火を燃すことによりできるので、比較的手に入りやすく身近な肥料であったといえるでしょう。

No 11 ふすま

お家のふすまを思わず破ってしまったとき、ふすまの下からちょっと昔のチラシやデパートの包装紙等が出て来たことはないでしょうか。ふすまは、表の紙に美しい絵柄のものなどを用いますが、中の木枠を保護し、表の紙を張り付きやすくする為に、下紙としていらなくなった紙を用いました。江戸時代に張られたものの中からは、歴史を明かにするのに貴重な古文書が発見されることも多くあり、また、数十年前の下紙でも、当時の生活様式や物価も、当時の生活様式や物価等を調べるのにたいへん貴重なものがあります。

No 12 茶甕蓋

できあがったお茶は、甕(かめ)に入れて保存しました。このとき、余計な水分が入り込まないようにするため、不要になった紙を蓋(ふた)に張り付けて、今でいうゴムのパッキンのかわりをさせていました。

No 13 こえおけ

昔、化学肥料がなかったころには、たんぼや畑にまく肥料は、自然のものがほとんどでした。なかでも人の排出した糞肥(ふんび)は作物にとっては栄養価の高い肥料でした。このおけは、そういった糞肥を畑まで運ぶ道具です。

No 14 焙炉

蒸したお茶の葉を乾燥させるために用いました。下には炭で火を起し、その上に厚く紙を敷き詰めた「助炭じょたん」をおいて作業を行いました。このとき、「助炭」に用いる紙は、いらなくなった書類等を再利用しました。

現在のリサイクル

資源の再利用や省資源のための試みとして、現在私たちの身近な生活の中でいろいろな「リサイクル」が行われています。

ペットボトルは、フレーク状にしてジャケットなどの繊維製品や、ヘアスプレー容器などの成型品、包装材料などに生まれ変わります。

プラスチックやビニールは、粉碎しブロック状に圧縮、梱包して、プラスチック固形燃料として民間企業のボイラー用燃料として利用されます。

生ごみは、発酵剤を入れ良質の肥料となります。この他、古紙、ガラス、ビン、アルミニウム缶、繊維類など、たくさんのものが現在リサイクルされています。

「地球にやさしいライフスタイル」を築くためにも、リサイクルは重要なことですね。

No 15～16 固形燃料・プラスチック類一覧パネル

プラスチックやビニールは、粉碎しブロック状に圧縮、梱包して、プラスチック固形燃料として民間企業のボイラー用燃料として利用されます。

No 17～24 ペットボトル・ペット（フレーク状）・製品

ペットボトルは、フレーク状にしてジャケットなどの繊維製品や、ヘアスプレー容器などの成型品、包装材料などに生まれ変わります。

No 25 生ごみ処理容器

生ごみは、発酵剤を入れ良質の肥料となります。

リサイクル展 出展目録

No	品名	数量	備考
1	埋甕（うめがめ）	1	地蔵院遺跡出土 縄文時代後期
2	炉体土器	1	" "
3	土錘（どすい）	4	投網に使用された。
4	かわらけ	1	岩槻城址出土 岩槻市教育委員会所蔵
5	板碑（いたび）	4	①板碑（本体） 宮代町内出土 宮代町郷土資料館所蔵 ②木の実を割る道具に利用された板碑 岩槻城址出土 岩槻市教育委員会所蔵 ③砥石に再利用された板碑 岩槻城址出土 岩槻市教育委員会所蔵 ④斧に再利用された板碑 岩槻城址出土 岩槻市教育委員会所蔵
6	封筒	1	宮代町郷土資料館所蔵
7	手習い帳	1	"
8	襦袢（じゅばん）	2	"
9	灰	1	"
10	炭	1	"
11	ふすま	1	"
12	茶甕蓋（ちやがめふた）	1	"
13	肥桶（こえおけ）	1	"
14	焙炉（ほいろ）	1	"
15	固形燃料	1	久喜宮代衛生組合所蔵
16	プラスチック類一覧パネル	1	"
17	ペットボトル	1	"
18	ペット（フレーク状）	3	"
19	フリースジャケット	1	"
20	レンジフードカバー	1	"
21	ヘアスプレー容器	1	"
22	台所用洗剤容器	1	"
23	ファイル	1	"
24	透明ファイル	1	"
25	生ゴミ処理容器	1	"

(協力機関)

岩槻市教育委員会

久喜宮代衛生組合

宮代町生活環境課

お知らせ

10月22日 **共生フェアー** (会場 宮代町保健センターを中心として)

問合せ 保健センター・生活環境課

11月28日 **目で見る環境講座** - ペットボトルの行方を追う -

問合せ 生活環境課